

評価の観点と評価規準 3上

単元	小 単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
わくわく算数学習		A 算数の学習の仕方を理解し、そのよさに気づくことができる。	図、式、ことばなどを関連づけて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	算数の学習の仕方に関心を持ち、進んで学習の仕方を学ぼうとしている。
		B 算数の学習の仕方を理解することができる。	図、式、ことばなどを関連づけて考えたり説明したりしている。	算数の学習の仕方に関心を持ち、学習の仕方を学ぼうとしている。
1 九九の表とかけ算		A 九九の表の活用の仕方や、10や0のかけ算の意味を深く理解し、手際よく10や0のかけ算をし、□にあてはまる数を見つけることができる。	上手に九九の表を使って、10や0のかけ算の仕組みなどを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	九九の表のきまりをみつけ、それを進んで計算に用いようとしている。
		B 九九の表の活用の仕方や、10や0のかけ算の意味を理解し、10や0のかけ算をし、□にあてはまる数を見つけることができる。	九九の表を使って、10や0のかけ算の仕組みなどを考えたり説明したりしている。	九九の表のきまりをみつけ、それを計算に用いようとしている。
2 わり算	①分け方とわり算	A わり算が用いられる場面や等分除、包含除の意味を深く理解し、かけ算九九を使って、手際よくわり算ができる。	わり算をかけ算の逆演算とみて、かけ算九九を使って計算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	わり算に関心を持ち、進んで身の回りからわり算になる問題をつくろうとしている。
		B わり算が用いられる場面や等分除、包含除の意味を理解し、かけ算九九を使ってわり算ができる。	わり算をかけ算の逆演算とみて、かけ算九九を使って計算の仕方を考えたり説明したりしている。	わり算に関心を持ち、身の回りからわり算になる問題をつくろうとしている。
	②わり算を使った問題	A 問題文の意味から、除法と加法、減法を適切に組み合わせる立式する仕方を深く理解し、手際よく問題を解くことができる。	順序よく考えて、除法と加法、減法の組み合わせ方を考え、その特徴に触れながら説明している。	進んでわり算を使った問題に取り組もうとしている。
		B 問題文の意味から、除法と加法、減法を適切に組み合わせる立式する仕方を理解し、問題を解くことができる。	順序よく考えて、除法と加法、減法の組み合わせ方を考えたり説明したりしている。	わり算を使った問題に取り組もうとしている。
	③答えが九九にないわり算	A 答えが九九にないわり算の計算の仕方を深く理解し、答えが九九にないわり算を手際よく計算できる。	10を単位にして九九1回適用のわり算に帰着させて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	答えが九九にないわり算に関心を持ち、進んで計算しようとしている。
		B 答えが九九にないわり算の計算の仕方を理解し、答えが九九にないわり算を計算できる。	10を単位にして九九1回適用のわり算に帰着させて考えたり説明したりしている。	答えが九九にないわり算に関心を持ち、計算しようとしている。
思 図を使 って考 えよう		A 線分図による数量の関係の表し方を深く理解し、順思考と逆思考を組み合わせた3要素2段階の問題を手際よく解くことができる。	順思考と逆思考を組み合わせた3要素2段階の問題の解決の方法を考え、その特徴に触れながら説明している。	図を使って意欲的に問題解決にあたろうとしている。
		B 線分図による数量の関係の表し方を理解し、順思考と逆思考を組み合わせた3要素2段階の問題を解くことができる。	順思考と逆思考を組み合わせた3要素2段階の問題の解決の方法を考えたり説明したりしている。	図を使って問題解決にあたろうとしている。

単 元	小 単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
3 たし算とひき算の筆算	①たし算の筆算	A 十進位取り記数法の仕組みや繰り上げの仕方を深く理解し、手際よく、(3 位数)+(3 位数)の筆算ができる。	2 位数のたし算を基もとに、繰り上がりの仕方を考え、その特徴に触れながら説明している。	進んで(3 位数)+(3 位数)の筆算をしようとしている。
		B 十進位取り記数法の仕組みや繰り上げの仕方を理解し、(3 位数)+(3 位数)の筆算ができる。	2 位数のたし算をもとに、繰り上がりの仕方を考えたり説明したりしている。	(3 位数)+(3 位数)の筆算をしようとしている。
	②ひき算の筆算	A 十進位取り記数法の仕組みや繰り下げの仕方を深く理解し、手際よく、(3 位数)-(3 位数)の筆算ができる。	2 位数のひき算をもとに、繰り下がりの方をを考え、その特徴に触れながら説明している。	進んで(3 位数)-(3 位数)の筆算をしようとしている。
		B 十進位取り記数法の仕組みや繰り下げの仕方を理解し、(3 位数)-(3 位数)の筆算ができる。	2 位数のひき算をもとに、繰り下がりの方を考えたり説明したりしている。	(3 位数)-(3 位数)の筆算をしようとしている。
	③4 けたの数の筆算	A 十進位取り記数法の仕組みや繰り上げ、繰り下げの仕方を深く理解し、手際よく、4 位数の加減の筆算ができる。	既習の筆算をもとにして、4 位数以上の加減の筆算の仕方を考え、その特徴に触れながら説明している。	既習の筆算の仕方を基もとに、進んで4 位数の加減の筆算の仕方を考えようとしている。
		B 十進位取り記数法の仕組みや繰り上げ、繰り下げの仕方を理解し、4 位数の加減の筆算ができる。	既習の筆算をもとにして、4 位数の加減の筆算の仕方を考えたり説明したりしている。	既習の筆算の仕方を基もとに、4 位数の加減の筆算の仕方を考えようとしている。
4 時と分と秒		A 時刻や時間の求め方や秒について深く理解し、手際よく時刻や時間を求めたり、秒の単位を用いて測定したりすることができる。	時間の仕組みを基もとに、時刻や時間の計算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	時刻や時間の計算のよさや秒に関心を持ち、進んで身のまわりの時間の計算をしようとしている。
		B 時刻や時間の求め方や秒について理解し、時刻や時間を求めたり、秒の単位を用いて測定したりすることができる。	時間の仕組みを基もとに、時刻や時間の計算の仕方を考えたり説明したりしている。	時刻や時間の計算のよさや秒に関心を持ち、身のまわりの時間の計算をしようとしている。
5 一 万 を こ え る 数	①万の位	A 十進位取り記数法に基づく 1 億までの数の表し方やしくみを深く理解し、1 億までの数を手際よくよんだり表したりすることができる。	1000 や 1 万を単位にして、大きな数の計算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	1 億までの数に関心を持ち、進んで数の仕組みを調べようとしている。
		B 十進位取り記数法に基づく 1 億までの数の表し方やしくみを理解し、1 億までの数をよんだり表したりすることができる。	1000 や 1 万を単位にして、大きな数の計算の仕方を考えたり説明したりしている。	1 億までの数の仕組みを調べようとしている。
	②10 倍した数、10 でわった数	A 十進位取り記数法のしくみを深く理解し、10 倍、100 倍、1000 倍した数、10 でわった数を手際よく求めることができる。	10 倍、100 倍、1000 倍したり、10 でわったりしたときの位の変化に着目し、その特徴に触れながら説明している。	10 倍、100 倍、1000 倍した数、10 でわった数に関心を持ち、進んで数のしくみを調べようとしている。
		B 十進位取り記数法のしくみを理解し、10 倍、100 倍、1000 倍した数、10 でわった数を求めることができる。	10 倍、100 倍、1000 倍したり、10 でわったりしたときの位の変化に着目し、説明している。	10 倍、100 倍、1000 倍した数、10 でわった数に関心を持ち、数のしくみを調べようとしている。

単 元	小 単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
6 表とグラフ	①表づくり	A 資料の数を正の字を使って数え、簡単な表に手際よく整理することができる。	分類・整理の仕方をもとに表に表す仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	表やグラフを使うよさに気づき、進んでわかりやすく表そうとしている。
		B 資料の数を正の字を使って数え、簡単な表に整理することができる。	分類・整理の仕方をもとに表に表す仕方を考えたり説明したりしている。	表やグラフを使うよさに気づき、わかりやすく表そうとしている。
	②ぼうグラフ	A 棒グラフのかき方、よみ方を深く理解し、手際よく棒グラフをよんだり、かいたりすることができる。	目的に応じた棒グラフのつくり方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	身のまわりでどんな棒グラフが使われているかに関心を持ち、進んでみつけようとしている。
		B 棒グラフのかき方、よみ方を理解し、実際に棒グラフをよんだり、かいたりすることができる。	目的に応じた棒グラフのつくり方を考えたり説明したりしている。	身のまわりでどんな棒グラフが使われているかに関心を持ち、みつけようとしている。
	③ふうした表やぼうグラフ	A 二次元の表について深く理解し、棒グラフから、手際よく情報をよみとったり整理したりすることができる。	工夫された2つの棒グラフについて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで複数の表を1つの表にまとめようとしたり、2つの棒グラフをみて、特徴をとらえようとしたりしている。
		B 二次元の表について理解し、棒グラフから、情報をよみとったり整理したりすることができる。	工夫された2つの棒グラフについて考えたり説明したりしている。	複数の表を1つの表にまとめようとしたり、2つの棒グラフをみて、特徴をとらえようとしたりしている。
	④ぼうグラフを使って	A 目盛りの幅が異なる2つのグラフのよみ方を深く理解し、手際よくよみ取ることができる。	2つの棒グラフの目盛りの幅の違いを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	わかりやすく表すための工夫の仕方を進んで考えようとしている。
		B 目盛りの幅が異なる2つのグラフのよみ方を理解し、実際によみ取ることができる。	2つの棒グラフの目盛りの幅の違いを考えたり説明したりしている。	わかりやすく表すための工夫の仕方を考えようとしている。
7 たし算とひき算		A $(2\text{ 位数}) \pm (2\text{ 位数})$ や $100 - (2\text{ 位数})$ の暗算の仕方を深く理解し、その計算の答えを手際よく暗算で求めることができる。	上手に暗算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	暗算のよさがわかり、日常生活の中で進んで暗算を活用しようとしている。
		B $(2\text{ 位数}) \pm (2\text{ 位数})$ や $100 - (2\text{ 位数})$ の暗算の仕方を理解し、その計算の答えを暗算で求めることができる。	暗算の仕方を考えたり、説明したりしている。	暗算のよさがわかり、日常生活の中で暗算を活用しようとしている。
学 わ く わ く 算 数 ひ ろ ば	●どんな計算になるのかな	A かけ算やわり算の意味を深く理解し、問題をよんで、手際よく演算を決定することができる。	演算決定の根拠を考え、その特徴に触れながら説明している。	どんな計算になるのかを調べ、進んでわけを説明しようとしている。
		B かけ算やわり算の意味を理解し、問題をよんで、演算を決定することができる。	演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。	どんな計算になるのかを調べ、わけを説明しようとしている。
	●算数の自由研究	A 迷路の意味やつくり方を深く理解し、手際よく迷路をつくることができる。	適切な見通しをもちながら、迷路の構成を考え、その特徴に触れながら説明している。	迷路づくりに意欲的に取り組み、いろいろな迷路をつくらうとしている。
		B 迷路の意味やつくり方を理解し、実際に迷路をつくることができる。	見通しをもちながら、迷路の構成を考えたり説明したりしている。	迷路づくりに取り組み、いろいろな迷路をつくらうとしている。
8 長さ		A 長さの単位 km を知るとともに、巻き尺の使い方を深く理解し、手際よく長さを測定したり計算したりすることができる。	長さの単位に着目し、長さの計算の仕方を考え、その特徴に触れながら説明している。	計器のよさに関心を持ち、進んで身のまわりの長さを測定しようとしている。
		B 長さの単位 km を知るとともに、巻き尺の使い方を理解し、長さを測定したり計算したりすることができる。	長さの単位に着目し、長さの計算の仕方を考えたり説明したりしている。	計器のよさに関心を持ち、身のまわりの長さを測定しようとしている。

単 元	小 単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
9 あ ま り の あ る わ り 算	①あまりのあるわり算のしかた	A わり算の意味、余りの大きさや確かめ方を深く理解し、手際よく余りのあるわり算の計算をし、余りを求めることができる。	わり算の意味に基づいて、余りの大きさを考え、その特徴に触れながら説明している。	余りのあるわり算の仕方を進んで考えようとしている。
		B わり算の意味、余りの大きさや確かめ方を理解し、余りのあるわり算の計算をし、余りを求めることができる。	わり算の意味に基づいて、余りの大きさを考えたり説明したりしている。	余りのあるわり算の仕方を考えようとしている。
	②あまりを考えて	A わり算の余りの処理の仕方を深く理解し、場面や目的に応じて、手際よく余りを処理することができる。	場面や目的に応じて、余りを切り捨てたり切り上げたりする根拠を考え、その特徴に触れながら説明している。	進んでわり算の余りの処理の仕方を考えようとしている。
		B わり算の余りの処理の仕方を理解し、場面や目的に応じて、余りを処理することができる。	場面や目的に応じて、余りを切り捨てたり切り上げたりする根拠を考え、説明している。	わり算の余りの処理の仕方を考えようとしている。
10 重 さ	①重さの表し方	A 重さの単位とその量感を実感的に理解し、手際よく重さの見当をつけ、計器を選択して測定したり、重さの計算をしたりすることができる。	長さと同様に、重さを数値化して表すことを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	重さに関心をもち、進んで身のまわりのものの重さを調べようとしている。
		B 重さの単位とその量感を理解し、重さの見当をつけ、計器を選択して測定したり、重さの計算をしたりすることができる。	長さと同様に、重さを数値化して表すことを考えたり説明したりしている。	重さに関心をもち、身のまわりのものの重さを調べようとしている。
	②たんの関係	A tがとても重い重さを表すときに使われる単位であることや、 $1\text{ t}=1000\text{ kg}$ であることを深く理解し、tで表された重さを手際よくkgで表すことができる。	単位の関係について、何倍になっているかを考え、その特徴に触れながら説明している。	これまでに学習した単位について進んで調べようとしている。
		B tがとても重い重さを表すときに使われる単位であることや、 $1\text{ t}=1000\text{ kg}$ であることを理解し、tで表された重さをkgで表すことができる。	単位の関係について、何倍になっているかを考えたり説明したりしている。	これまでに学習した単位について調べようとしている。